

柏崎市地域公共交通利便増進実施計画(概要)

- 柏崎市では、令和5年11月から中央エリアで運行しているAIオンデマンド交通の利便性をさらに向上させるため、中央エリアでの**AIオンデマンド交通の運行区域を拡大し、路線バスが運行されていない交通空白時間帯における利便性向上**を図る。
- 市街地循環バスにおいて、**高校生の登下校の利用に比重を高めたダイヤ設定や乗車運賃設定、キャッシュレス決済の導入**を行い、日中の移動を軸としたAIオンデマンド交通と**相互に補完する役割を明確化**することで、**交通ネットワーク全体の持続可能性の向上**を図る。

【参考】中山間地域においては、相次ぐ路線バスの減便等により利便性が低下していることから、順次、**市全域における地域公共交通ネットワークの再構築**を行い、安定的な地域公共交通の確保を図る。<今後、利便増進実施計画に追記予定の取組>

事業の内容

① AI オンデマンド交通の区域拡大 【法第2条第13号イ（1）】

AIオンデマンド交通の運行区域として、上条地区全域と中通地区の一部を追加する。また、区域拡大に伴い、運行車両を2台増台し、計8台とする。

② 市街地循環バスの見直し 【法第2条第13号ハ】

市街地循環バスについて、高校生の登下校による利用への比重を高め、それに合わせたダイヤ設定や乗車運賃設定（中人料金の設定）とすることで、日中の移動を軸としたAIオンデマンド交通と相互に補完し合う役割を明確化する。また、キャッシュレス決済サービスの導入を図る。

【参考】地域公共交通ネットワークの再構築【法第2条第13号イ（1）、（3）】

路線バスの減便により、利便性が低下している中山間地域において、既存の地域内交通を再編した上で、AIオンデマンド交通の新規運行を実施。<今後、利便増進実施計画に追記予定の取組>

事業の効果

・地域公共交通の利便性の向上

→AIオンデマンド交通の区域拡大により、路線バスの減少により生じた交通空白時間帯の移動手段が確保されることで、利便性が向上。

→キャッシュレス決済の導入により、バスの乗降がスムーズになることで、利便性が向上。

・地域公共交通の持続可能性の向上

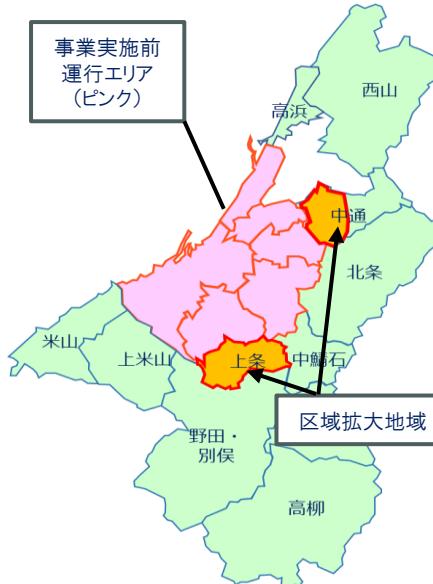
→AIオンデマンド交通（=日中の移動の足）と市街地循環バス（=主に高校生の登下校の足）が相互に補完する役割を明確化することで、地域全体の交通ネットワークの持続可能性が向上。

・作成自治体 新潟県柏崎市 ・事業実施区域 柏崎市中心部の15地区

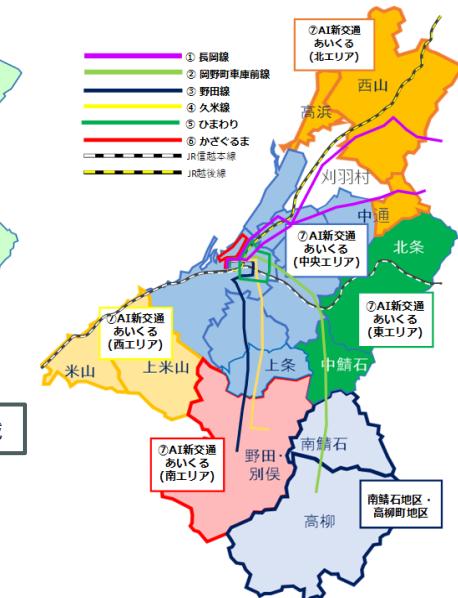
・事業実施予定期間 R7年3月～R9年3月

■ 事業概要概略図

①AIオンデマンド交通の区域拡大



【参考】地域公共交通ネットワークの再構築
<今後、利便増進計画に追記予定の取組>



②市街地循環バスの見直し（ダイヤ見直し、中人料金の設定等）

→AIオンデマンド交通と市街地循環バスが相互に補完する役割を明確化

現行	変更案
東本町先回り 7:00	東本町先回り 7:00
西本町先回り 8:00	西本町先回り 8:00
9:00 10:00	9:00 10:00
11:00 12:00	11:00 12:30
13:00 14:00	14:00 15:30
15:00 16:00	16:30 17:30
17:00 18:00	17:30
平日：12便 休日：10便	平日：10便 休日：7便

現行	変更案
大人：160円	大人：200円
小人：80円	中人：150円
乳幼児：無料	小人：100円
	乳幼児：無料